

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	4 文化・スポーツ
----	-----------

評価責任者	所属	観光交流文化局 文化振興課
	氏名	課長 萩原 智美

政策	2 世界レベルの芸術文化・スポーツを楽しむ機会の拡大を推進します
----	----------------------------------

施策	1 芸術文化を通じた交流の推進と賑わい創出
----	-----------------------

**施策の目的**  
 本市では、総合的かつ持続的な文化の振興を図り、個性豊かなしずおか文化の創造と、文化を活かした交流による活力あふれるまちづくりに寄与するため、平成28年4月に「静岡市創造及び交流によりまちの活力を生み出す文化の振興に関する条例」を制定しました。平成29年3月には同条例に基づく「静岡市文化振興計画」を策定し、文化の持つ創造性を地域振興や観光・経済振興等に活かす『創造都市』としての取組を積極的に進めていくこととしました。今後は同計画に基づき、静岡らしい特色ある文化事業の実施や文化事業の開催による賑わい創出により、第3次総合計画に掲げる「世界に輝く静岡」の実現を目指します。

## （1）総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	理由
	令和2年度	—	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、施設が休館又は利用停止になったり一部事業が中止となった。また、設定している指標「芸術文化事業来場者数」について、新型コロナウイルス感染症の影響を受け事業の中止・規模縮小での実施となり適正な実績値を測定することができなかったため、評価することができない。
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。  
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## （2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠	
	成果指標	芸術文化事業来場者数	現状値：348,251人 (2017)	1	372,100人	353,691人	95.1%	a	直近3年間の平均値（100未満四捨五入）だが、令和2年度については新型コロナウイルスの影響が想定されるため70%の数値としている。
2				260,500人	228,804人	87.8%	b		
3				372,100人	—	—	—		
4				372,100人	—	—	—		
				1					
				2					
				3					
				4					
				1					
				2					
				3					
				4					

指標以外の成果

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
文化施設における芸術文化事業の企画・開催	静岡市民文化会館、静岡音楽館、静岡科学館、静岡市美術館等の文化施設で行われる特色ある文化事業の開催		1	374,540	0	350,618	10.0	4.0	0.0	△
			2	386,415	0	303,441	10.0		4.0	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
大規模芸術文化事業の誘致	演劇等ロングラン公演の誘致、開催		1	0	0	0	3.0	0.0	0.0	—
			2	0	0	0	3.0		0.0	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
A級順位戦最終局開催事業	家康公顕彰四百年記念事業の一環として開始した「A級順位戦最終局（旧名称：将棋名人戦第0局）」の開催		1	7,000	0	6,286	2.0	0.0	0.0	○
			2	7,000	0	6,750	2.0		0.0	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	令和元年度は、全体目標の達成はできなかったが、イベント別で見ると目標を達成したのものも見受けられる。しかし、台風の影響で中止した羽衣まつりや、A級順位戦最終局の規模縮小（目標値より600名ほど減）など、大幅に目標を達成できなかったものもあり、今後の一層の周知が必要であると考え。	参加者数の増加に向け、幅広い周知が必要である。
令和2年度	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、感染拡大防止の観点から中止・規模縮小した事業が多数あり目標の達成には至らなかった。今後は、事業参加者数の回復に向けた工夫が必要である。	参加者数の回復に向けた効果的な広報の実施や、他事業・他課との連携を検討していく。
令和3年度		
令和4年度		

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	4 文化・スポーツ
----	-----------

政策	2 世界レベルの芸術文化・スポーツを楽しむ機会の拡大を推進します
----	----------------------------------

施策	2 スポーツを活かしたMICEの推進
----	--------------------

施策の目的	本市スポーツ推進計画では、スポーツを「観る」、「する」、「支える」と大きく3つの視点で推進しています。その中でも「観る」、「する」に関連して、全国規模の大会の開催、また、静岡に根付くサッカー・野球の魅力を磨き上げることにより、静岡市民はもとより、市外、県外へも静岡市の魅力を発信することにより、市外や県外から静岡市を訪れる人を増やします。
-------	---

評価責任者	所属	観光交流文化局 スポーツ交流課
	氏名	課長 長澤 秀紀

## (1) 総合評価

総合評価	令和元年度	<b>B：施策の目的があまり達成されていない。</b>	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、静岡マラソン、静岡野球ウィークなどの大規模イベントが中止となり、目標を大きく下回った。ただし、中止となったイベントの事前参加申し込み状況から、市外からの参加予定人数は把握できており、予定どおり開催されていれば、成果指標は「b」評価となったと見込まれるため、総合評価は「B」とした。
	令和2年度	—	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、静岡マラソン、静岡野球ウィークなどの大規模イベントが中止となり、成果指標である「市外からの各種大会に参加する人の数」の実績値を測定することができなかったため、評価することができない。
	令和3年度	—	理由	
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。  
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## (2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠		
	成果指標	市外から各種大会に参加する人の数 (人/年)	18,313人 (H27～29平均)	1	18,735人	5,019人	26.8%		d	第3次総合計画後期実施計画最終年度である令和4年度に現状値から10%程度増加することを目標に、各年度2.5%程度の増加を目標値とした。
2				19,157人	984人	5.1%	d			
3				19,578人	—	—	—			
4				20,000人	—	—	—			
				1						
				2						
				3						
				4						
				1						
				2						
				3						
				4						
指標以外の成果		・令和2年度の静岡マラソン2021大会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、静岡市内の医師などで構成する「静岡マラソン実行委員会 医事委員会」を開催し、次回2022大会に向けた新型コロナウイルス感染症対策について協議をしたことで、今後の大会運営における感染症対策の詳細について確認することができた。 ・令和2年度の全国少年少女草サッカー大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、県内の参加予定であったチームで新型コロナウイルス感染症対策及び夏場の熱中症対策を考慮した試合を実施したことで、主催者側と今後の大会開催に向けての運営方法を確認することができた。								

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
静岡マラソンの開催	①静岡マラソン開催に係る静岡マラソン実行委員会への補助金交付 ②開催に伴う市関係機関との調整及び広報	1	1	45,000	0	37,736	0.6	0.0	0.0	○
			2	45,000	0	436	0.6		0.0	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
サッカー、野球によるまちづくり	①サッカーによるまちづくりとして、全国規模のサッカー大会の開催のほか、地域の賑わい創出やコミュニティ機能向上、青少年育成に関する事業などを推進。 ②野球によるまちづくりとして、市民野球熱の醸成を推進するイベント・大会の開催や情報発信等を実施。	2	1	42,732	0	34,033	3.0	1.0	0.0	○
			2	27,198	0	16,186	3.0		1.0	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで通りスポーツイベント・大会等を開催することが困難になっている。感染症対策を実施した安心安全な大会運営や県外参加者の受け入れなどが課題となる。	今後の新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、安心安全な大会運営、県外からの参加者の受け入れ方法などについて、各イベント主催者等とともに協議を行っていく。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで通りスポーツイベント・大会等を開催することが困難になっている。感染症対策を実施した安心安全な大会運営や県外参加者の受け入れなどが課題となる。	今後の新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、安心安全な大会運営、県外からの参加者の受け入れ方法などについて、各イベント主催者等とともに協議を行っていく。
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	4 文化・スポーツ
----	-----------

政策	2 世界レベルの芸術文化・スポーツを楽しむ機会の拡大を推進します
----	----------------------------------

施策	3 オリンピック・パラリンピック・ラグビーW杯開催に向けた取組
----	---------------------------------

施策の目的	2019年にラグビーワールドカップが、2021年には東京オリンピック・パラリンピックという世界レベルの国際大会が国内で開催されます。これらの大会では事前合宿が行われることが多く、この合宿を静岡市内に誘致することにより、トップアスリートによる市民交流事業を実施するなど、スポーツに関する市民の意識の醸成を図るとともに、ジュニアの育成や国際交流機会の創出を目指します。
-------	--

評価責任者	所属	観光交流文化局 スポーツ交流課
	氏名	課長 長澤 秀紀

## (1) 総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	ラグビーワールドカップに係る取組では、イタリア代表の合宿受入に加え、トップ選手による学校訪問等を実施し、児童生徒がスポーツへの関心を高めると共に異文化への理解を深めることができた。また、東京オリンピック・パラリンピックに係る取組では、東京2020大会の予選等で試合日程等が例年と異なり合宿件数が目標値を下回ったが、これまで誘致を続けてきたサッカー女子日本代表の合宿が市内で実施されたほか、新たにモーリシャスオリンピック委員会と覚書を締結し、東京2020大会時の合宿誘致を実現したため、総合評価は「A」とした。
	令和2年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	オリンピック・パラリンピックに係る取組では、新型コロナウイルス感染症の影響により大会が延期となり、予定していたホストタウン相手国・地域の合宿受入れも来年度に延期となったが、これまで誘致を続けてきた車いす男子バスケットボール日本代表チームによる継続した合宿誘致が実現したことから、総合評価は「A」とした。
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。  
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## (2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（％）	評価	目標値の算出根拠
			1	11件以上	8件	72.7%	c	
2	2件以上	2件	100.0%	a				
3	5件以上	—	—	—				
4	8件以上	—	—	—				
指標以外の成果	台湾陸上代表選手によるオンライン陸上クリニックなど、コロナ禍でも実施可能なオンラインを活用した交流事業を数多く実施し、ホストタウン相手国・地域との交流を推進した。		1					
			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
ラグビーワールドカップ合宿等誘致事業	①イタリア代表チームのキャンプ受入(9/27~10/6)【令和元年度】	2	1	42,000	0	30,796	1.0	0.1	0.0	—
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
合宿の誘致に伴う交流事業	①ラグビーイタリア代表チームの合宿受入れに伴う市民交流事業等の実施(学校訪問、市民交流、ラグビー教室の実施など)、大会開催前の機運醸成活動及び大会期間中に行われる公式イベントでの情報発信【令和元年度】 ②台湾陸上の合宿受入れに伴う市民交流事業の実施(学校訪問、民間事業者等との連携事業など)【令和元年度】 ③大会の延期により、予定していたホストタウン相手国・地域(台湾、スペイン、モーリシャス)の合宿受入が中止となったが、オンライン等を活用した市民交流事業の実施	3	1	上下事業に含む	0	上下事業に含む	—	—	—	—
			2	下事業に含む	0	下事業に含む	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
東京2020オリンピック・パラリンピックの合宿等誘致事業	①2020年東京オリパラ事前合宿誘致方針に基づく誘致活動 ②東京2020オリンピック・パラリンピック事前合宿の受入れ(台湾陸上)【令和元年度】 ③国内競技団体等への誘致活動	1	1	44,656	0	27,881	1.4	0.1	0.0	—
			2	41,256	0	4,291	1.4	—	0.1	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例(◎:計画より進んでいる、○:計画どおり進んでいる、△:計画より遅れている、—:計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	①東京2020オリンピック・パラリンピックの延期に伴い、ホストタウン相手国・地域との交流を途絶えさせない取組 ②国内競技団体の継続した市内合宿の誘致	①コロナ禍の渡航制限等により、合宿受入れ等の直接的な人的交流の実施が難しい中、オンライン等を活用した間接的な交流に切り替え、相手国・地域との交流を深めていく。 ②市内合宿時に競技団体から要望等を聴取し、随時、施設側と調整を図る。受入施設と連携を図り、継続した市内合宿の誘致に取り組んでいく。
令和2年度	①東京2020オリンピック・パラリンピックの延期に伴い、ホストタウン相手国・地域との交流を途絶えさせない取組及び大会を見据えた取組 ②国内競技団体の継続した市内合宿の誘致	①コロナ禍の渡航制限等により、合宿受入れ等の直接的な人的交流の実施が難しい中、オンライン等を活用した交流をより一層推進し、相手国・地域との交流を深めていく。 ②市内合宿時に競技団体から要望等を聴取し、随時、施設側と調整を図る。受入施設と連携を図り、継続した市内合宿の誘致に取り組んでいく。
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—